

保守点検

日常の保守点検の手引き（使用者による保守点検）

- 医療機器の保守点検の管理は、使用者（医療機関）の業務です。使用者側で実施されない場合は、医療機器修理業者などの有資格者に外部委託することが認められています。
- 本製品を末永く、安全にご使用頂くためには、下記の項目について定めた頻度で点検を実施して頂く必要があります。

No	点検内容	点検頻度	点検方法・診断	点検未実施の場合の影響	点検の結果、不合格時の保守作業
1	安全機能の確認	毎回 (始業前)	①フットコントローラーのペダルを深く踏み込んだとき、椅子の操作スイッチは機能しないこと。 ②ドクター操作パネルのファンクションスイッチで設定操作しているとき、椅子の操作スイッチは機能しないこと。 ③椅子の自動運転中に、椅子操作のいずれかのスイッチ(フットスイッチ含む)を押せば、椅子は停止すること。 ④回転式のステップ部を患者側に回転させたとき、カスピターカバーのインジケータ部はピンク色に発光し、椅子の操作スイッチは機能しないこと。	治療中の椅子作動によるケガや、ユニットと椅子との挟みによる事故など、思わぬケガや事故の原因になります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
2	水・エア圧の確認	毎回 (始業前)	ユーティリティボックスの圧力計にて水・エアの圧力を確認すること。 基本設定圧力 水=0.09MPa~0.19MPa エア=0.44MPa~0.49MPa	製品が正常に作動しなくなり、事故などの原因になります。	設定圧力が異常に高いまたは低い場合は、取扱店または当社へ連絡してください。
3	水・エアの漏れ確認	毎回 (始業前)	製品の周りからの水・エアの漏れがないか確認すること。	製品が正常に作動しなくなり、事故などの原因になります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
4	テーブル部の状態確認	毎回 (始業前)	テーブル及びアームに傾きがなく、流れないこと。	テーブル上に置かれた物の落下によるケガや事故などの原因になります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
5	フィルムビューア確認	毎回 (始業前)	ON/OFFスイッチにて点灯・消灯すること。輝度調節機能があるものは調節ができること。また、継続して光がちらつかないこと。	フィルムビューアが点灯しなくなります。発光部位（蛍光灯など）は消耗品です。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
6	各操作スイッチの確認	毎回 (始業前)	各操作スイッチ（テーブル、カスピター、アシスタントの各部）が、正常に作動すること。 ※各操作スイッチの説明は、取扱説明書を参照。	製品が正常に作動しなくなり、事故などの原因になります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
7	光源付ハンドピースの確認	毎回 (始業前)	光源付ハンドピースをホルダーから取上げたとき、又はホルダーから取上げて回転駆動させた時にランプが点灯すること。	光源付ハンドピースのランプが点灯しなくなります。ランプは消耗品です。	各ハンドピースの取扱説明書に従いランプを交換してください。ランプを交換しても直らない場合は、取扱店または当社へ連絡してください。
8	エアタービン、エアモーターの作動確認	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げて作動させた時に、回転、水、エア量などに異常がないこと。 【参考値】 エアタービン・・・0.22MPa(*) のとき30000rpm以上 エアモーター・・・0.32MPa(*) のとき20000rpm以上 *・・・ドクターテーブルのハンドピース 圧力計での指示値 ご使用のハンドピースにより、定格が異なりますので、それぞれの取扱説明書をご確認ください。	患者口腔内のケガやハンドピースの故障など、事故の原因になります。	水量は取扱説明書の「各部の調節」に従って調節を行ってください。水量調節をしても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。

保守点検

No	点検内容	点検頻度	点検方法・診断	点検未実施の場合の影響	点検の結果、不合格時の保守作業
9	マイクロモーターの作動確認	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げて作動させた時、回転、水量などに異常がないこと。	患者口腔内のケガ、発熱によるやけどやハンドピースの故障など、事故の原因になります。	水量は取扱説明書の「各部の調節」に従って調節を行ってください。 水量調節をしても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。
10	スケーラーの作動確認	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げて作動させた時、振動、水量などに異常がないこと。	患者口腔内のケガ、発熱によるやけどやハンドピースの故障など、事故の原因になります。	水量は取扱説明書の「各部の調節」に従って調節を行ってください。 水量調節をしても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。
11	ハンドピースの固定状態の確認	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げて作動させた時、ハンドピースとホースの接続部から、水、エアのもれがないこと。	患者口腔内のケガ、発熱によるやけどやハンドピースの故障など、事故の原因になります。	製品のメインスイッチを切り、ハンドピースを取付直してください。 取付直しても直らない場合は、取扱店または当社へ連絡してください。
12	スリッジの作動確認	毎回 (始業前)	水、エアの量、噴霧状態が適切であること。	スリッジとしての機能（治療部位の乾燥、冷却、洗浄）ができなくなります。	水量、エア量は取扱説明書の「各部の調節」に従って調節を行ってください。 調節をしても直らない場合は、取扱店または当社へ連絡してください。
13	バキュームハンドピース	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げた時、吸引を始めること。フ付の場合、吸引ラインの開閉ができること。	口腔内の切削粉塵、水、唾液などを吸引しなくなります。	取扱説明書の「お手入れの方法」に従ってバキュームハンドピースの清掃をしてください。 清掃をしても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。
14	排唾ハンドピース	毎回 (始業前)	ハンドピースをホルダーから取上げた時、吸引を始めること。フ付の場合、吸引ラインの開閉ができること。	口腔内の水、唾液などを吸引しなくなります。	取扱説明書「お手入れの方法」に従って排唾ハンドピースの清掃をしてください。 清掃をしても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。
15	コップ給水	毎回 (始業前)	コップ置台に紙コップを置くと、正常にコップを検知し給水すること。 給水量は任意の水量（時間）を給水すること。 ※他の材質（ステンレス、プラスチックなど）や、濃い色柄の紙コップは誤作動する場合があります。	コップに給水されない、または任意の水量（時間）を給水しない可能性があります。	給水量は、取扱説明書「各部の調整」に従って給水量を調節してください。 給水量を調節しても直らない場合やその他の不具合は、取扱店または当社へ連絡してください。
16	ボウルフラッシュ	毎回 (始業前)	コップ給水と連動の場合はコップ置台にコップを置き、コップ給水と非連動の場合はボウル洗浄スイッチを押してボウルフラッシュが行えること。	ボウルフラッシュが行われない可能性があります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
17	その他	毎回 (始業前)	可動可能部位を可動させた際、機器のガタキや異音、ねじの緩みがないこと。	製品が正常に作動しなくなり、事故などの原因になります。	不具合時は、取扱店または当社へ連絡してください。
18	外観、汚れ、薬品・薬剤の除去	毎回 (終業後)	汚れ、薬品薬剤付着の有無に関わらず、製品全体を清拭のこと。汚れがひどい場合などは、水で薄めた中性洗剤を用いること。	樹脂部品などの変色、変質、破損などの原因になります。	取扱説明書の「お手入れの方法」に従って清拭してください。
19	お手入れ リッドコレクター	毎回 (終業後)	リッドコレクターのフィルターの清掃	バキュームの吸引が弱くなります。	取扱説明書の「お手入れの方法」に従って、フィルターを清掃してください。

保守点検

No	点検内容	点検頻度	点検方法・診断	点検未実施の場合の影響	点検の結果、不合格時の保守作業
20	お手入れ ドレンパルプ	1週間毎	エアフィルターのドレンパルプからの水抜き	エアラインに水が回り機器故障の原因になります。	取扱説明書の「お手入れの方法」に従って、エアフィルターの水抜きをしてください。
21	お手入れ オイルミステパレーター	1ヶ月毎	オイルミステパレーター内の排油量が赤いラインまで溜まっていないこと。	ハンドピースが排気不良で、正常に出力しなくなります。	取扱説明書の「お手入れの方法」に従って、オイルを排出してください。
22	お手入れ オプション品の 水クリーンフィルター	6ヶ月毎	各種ハンドピースやうがい用の水量等に異常がないこと。フィルターの寿命（適切な機能維持期間）の目安は約6ヶ月です。	水が出なくなりま す。 フィルターは消耗品です。	フィルターの交換作業時には、取扱店または当社へ連絡してください。有料にて交換致します。
23	お手入れ オプション品の エアリーフィルター	6ヶ月毎	各種ハンドピースのエア量等に異常がないこと。フィルターの寿命（適切な機能維持期間）の目安は約6ヶ月です。	エアの供給量が減少し ます。 フィルターは消耗品です。	フィルターの交換作業時には、取扱店または当社へ連絡してください。有料にて交換致します。



警告

保守点検は本手引きを参照して必ず実施してください。
保守点検を実施しないで本製品を使用すると、人身事故や物損事故などの原因になります。